

中学校外国語科 年間指導計画の立て方について

年間指導計画の立て方

(1) 作成の前に



Hello! I'm Matrikkuma.
マトリックス表を活用してね!

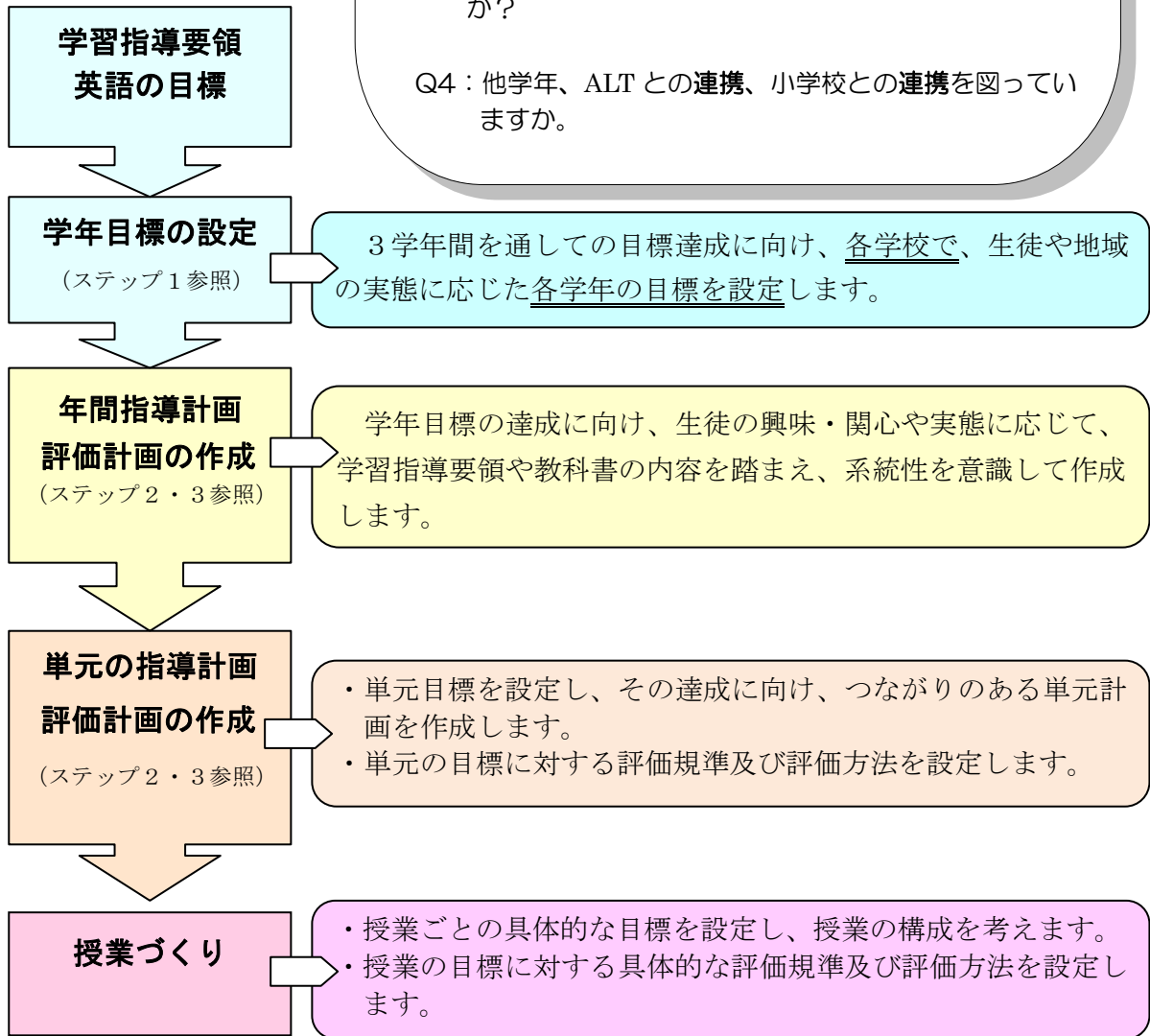
Q1: 学習指導要領解説(外国語編)の内容は理解できていますか?

Q2: 学習評価について理解できていますか?
* 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」(通知)
* 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(中学校 外国語)
* 「言語活動の充実に関する指導事例集」
 <中学校外国語>
* 「目標・言語活動の指導事項・評価規準等の一覧表」
 (高知県教育委員会作成)

Q3: 学校教育目標、目指す生徒像など、校内や外国語部会で共通理解し、組織で取り組む体制はできていますか?

Q4: 他学年、ALT との連携、小学校との連携を図っていますか。

(2) 作成のおおまかな流れ



ステップ1

各学年の目標を設定しましょう。(4技能ごとに設定することが望ましい)

学習指導要領 英語の目標

聞くこと	初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
話すこと	初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
読むこと	英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
書くこと	英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

本校の学年目標☆

☆は必須

各学校において、生徒や地域の実態に応じて、学年ごとの目標を適切に定める必要があります。3学年間を通じて英語の目標の実現を図りましょう。

第1学年	聞くこと	
	話すこと	
	読むこと	
	書くこと	
第2学年	聞くこと	
	話すこと	
	読むこと	
	書くこと	
第3学年	聞くこと	
	話すこと	
	読むこと	
	書くこと	

ステップ3

年間指導計画を立てましょう

第(1)学年年間指導計画例

☆は必須

◆全体計画のマトリックス表で示した言語活動の指導事項を明記する。

◆指導事項や題材内容、言語材料の特徴を踏まえ、表現や理解の能力に関わる事項を中心に設定されることが望ましい。
◆大きすぎる目標にしないこと。
◆別の場面でも使えること。

◆設定した目標に関係する各観点において、どの「評価規準の設定例」を参考にするかを確認し、実際の評価機会で適用する評価規準を設定する。
*「評価規準の例」についてはP69を参照

◆学習指導要領解説P29～47参照
(3)言語材料
(4)言語材料の取扱い

◆小学校における外国語活動との関連に留意して、指導計画を適切に作成すること。特に第1学年においては、学校でどのような語彙や表現を用いた活動が行われているかを把握する。
外国語活動の内容や指導の実態等を踏まえて、中学校ではどのような工夫をするのかを考える。
◆既習事項を生かした指導の工夫等
◆道徳や総合的な学習の時間等との関連

月☆	時数☆	単元名☆	指導事項				中心となる言語活動	単元の目標☆	単元の評価規準☆				言語材料	関連事項 ☆小学校との関連 ・既習事項との関連 ・各教科等との関連
			L	S	R	W			コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化の知識・理解		
4	6	単元1		エ										
5	8	単元2			イ									
~~~~~														
3	6	単元8 ナイアガラの滝		イ			町や観光地を案内する。 ○町や観光地を口頭で案内する。 ○ペアワークにおいて間違うことを恐れず話す。 ○助動詞canを用いた文の構造を理解する。 ○疑問詞whenを用いた文の構造を理解する。	ペアワークにおいて間違うことを恐れず話している。	町や観光地を口頭で案内することができる。		○助動詞canを用いた文の構造を理解している。 ○疑問詞whenを用いた文の構造を理解している。	We are going to ~. It's ~. We can see ~. When ~.	「英語ノート」で親しんでいる英文を使い、canの役割を推測させる。 Hello, friends. I can swim but I can't fly. Who am I?	



目標・言語活動の指導事項・評価規準等の一覧表

＜外国語科の目標（学習指導要領）＞

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

＜評価の観点及びその趣旨＞

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。



内容の まとめ	目標	言語活動の指導事項	評価の観点	「聞くこと」の評価規準 に盛り込むべき事項	「聞くこと」の評価規準の設定例
ア 聞くこと	初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。	(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。  (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。  (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。  (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。  (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。  【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。	【言語活動への取組】 ・相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。 ・聞いたことなどについて簡単な言葉や動作などで反応している。  【コミュニケーションの継続】 ・相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。
			外国語表現の能力	【正確な聞き取り】 英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。	【正確な聞き取り】 ・強勢やイントネーション、区切りなどの特徴をとらえて聞き取ることができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。
			外国語理解の能力	【適切な聞き取り】 場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。	【適切な聞き取り】 ・話されている内容から話し手の意向を理解することができる。 ・質問や依頼などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ・まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を聞き取ることができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。
				【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ	目標	言語活動の指導事項	評価の観点	「話すこと」の評価規準 に盛り込むべき事項	「話すこと」の評価規準の設定例
イ 話すこと	初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。	(ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。  (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。  (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。  (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。  (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。  【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、話し続けようとしている。	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 ・聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 ・問答したり意見を述べ合ったりしている。  【コミュニケーションの継続】 ・つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 ・身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。
			外国語表現の能力	【正確な発話】 自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる。	【正確な発話】 ・強勢やイントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。
			外国語理解の能力	【適切な発話】 場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。	【適切な発話】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 ・適切な声量や明瞭さで話すことができる。 ・聞き手を意識して強調したり繰り返したりして話すことができる。 ・与えられたテーマについて自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・発音の違いに関する知識を身に付けている。 ・基本的な強勢の違いを理解している。 ・基本的なイントネーションの違いを理解している。 ・基本的な区切りについて理解している。 ・話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちをうつ表現などを知っている。
				【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ り	目 標	言語活動の指導事項	評価の観点	「読むこと」の評価規準に 盛り込むべき事項	「読むこと」の評価規準の設定例
ウ 読 む こ と	英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。	(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。  (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。  (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。  (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。  (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	【言語活動への取組】 ・読んだことについて、メモをとったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 ・辞書を活用して読んでいる。 ・積極的に音読している。
			外国語表現の能力	【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、読み続けようとしている。	【コミュニケーションの継続】 ・繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。
			外国語理解の能力	【正確な音読】 英語を正しく音読することができる。	【正確な音読】 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。
			言語や文化についての知識・理解	【適切な音読】 英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。	【適切な音読】 ・意味内容にふさわしく音読することができる。 ・適切な声量や明瞭さで音読することができる。
			外国語理解の能力	【正確な読み取り】 英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。	【正確な読み取り】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。
			外国語理解の能力	【適切な読み取り】 目的に応じて適切に読んで理解することができる。	【適切な読み取り】 ・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ・書かれた内容から書き手の意向などを読み取ることができる。 ・伝言や手紙などを読んで、その内容にあわせて適切に応じることができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 ・語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。
			言語や文化についての知識・理解	【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

内容の まとめ り	目 標	言語活動の指導事項	評価の観点	「書くこと」の評価規準に 盛り込むべき事項	「書くこと」の評価規準の設定例
エ 書 く こ と	英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。	(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。  (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。  (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。  (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。  (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	【言語活動への取組】 「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	【言語活動への取組】 ・間違えることを恐れず積極的に書いている。 ・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。 ・辞書を活用して書いている。
			外国語表現の能力	【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、書き続けようとしている。	【コミュニケーションの継続】 ・うまく書けないところがあっても、知っている語句や表現を用いて書き続けている。
			外国語理解の能力	【正確な筆記】 自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。	【正確な筆記】 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【適切な筆記】 目的に応じて英語で適切に書くことができる。	【適切な筆記】 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 ・感想や内容に対しての賛否に加えてその理由を書くことができる。 ・内容的にまとまりのある文章を書くことができる。
			言語や文化についての知識・理解	【言語についての知識】 英語やその運用についての知識を身に付けている。	【言語についての知識】 ・文字や符号を使い分ける知識を身に付けている。 ・文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 ・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。
			言語や文化についての知識・理解	【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。	【文化についての理解】 ・家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

学習指導要領解説（外国語編）、「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」参照